

想いをかたちに

「やりたい看護」を仲間と支え合う病院



医療法人社団 こうかん会
日本鋼管病院

看護部案内



すべては、 患者さんのために。

患者さんの人生を尊重し、患者さんの最善・幸せを願い、看護師と患者さんとがともに考えともに病と闘っていけるような看護をしていきたいと思います。安心・安全で質の高い看護を提供することにより患者さんから信頼され、地域の皆様に鋼管病院があつてよかったと思ってもらえるような病院でありたいと思っています。

また、チーム医療においては、その要となり、お互いの強みを生かすとともに、お互いの考えを尊重し、耳を傾けることで「すべては患者さんのために」を実現していきたいと思います。

看護師は、様々な個性を持った人がいます。管理者になりたい人、認定看護師になりたい人、患者さんのそばで看護実践をしたい人、このような個々の看護師としてのキャリアを実現できるように、看護師としても人間としても成長していけるように、それぞれの看護師の思いに耳を傾け支援していきたいと思います。

「あなたでよかったです」と
言ってもらえるように、
看護師の思いを支援していきたい

副院長兼看護部長
木下佳子



集中ケア認定看護師
急性・重症患者看護専門看護師
看護学博士
日本クリティカルケア看護学会理事

患者さんの笑顔が「ホッ」とこぼれる看護 風通しのよい多職種連携が特徴のチーム医療

「すべては患者さんのために」という基本理念のもと、地域社会の一員として地域に暮らす方々のために、安心、安全な医療を提供していくことが私たちの使命と考えています。看護師は看護部のスタッフとともに、医師やコメディカルとの連携を通じて、目指す看護の実践に取り組んでいます。

院内保育園にて

私たちの
とっておき
1



看護師一人ひとりの
とっておきの看護実践を
ご紹介!

とっておきレポート▶



看護師を支えるナースエイド



患者さんと喜怒哀楽をともにする
ナースエイドは、入院中の患者さんの療養生活を支援する仕事です。患者さんが安心して療養生活を送れるように患者目線で看護師の仕事を支えています。
患者さん一人ひとり、その時々で様子が違うので、変化の中で適切なケアを実践し、喜怒哀楽をともにできるやりがいのある仕事です。
看護師が看護師本来の仕事に集中できるよう、ともに看護の質の向上を目指します。





2021年度
入職



充実した研修や手厚い指導を活かし 個別性を踏まえた看護実践をしていきたい

新人研修のBLS研修でAEDの使用方法を学び、事例を使ったグループワークも受けたおかげで、病棟での急変時に自分も対応でき、自信につながりました。

当院ではふきのとうの日という月に1度の新人研修がありますが、日々の業務の振り返りだけでなく、同期とともにリフレッシュする機会があり、「また、仕事を頑張ろう」という気持ちになります。また、職場では先輩たちが手厚く指導くださるので、日々充実して仕事に取り組めています。

患者さんからは些細なことでも「ありがとう」と感謝されることが多く、私のモチベーションになっています。今後は、患者さんの入退院の過程で個別性を踏まえた看護実践ができる目標にしたいです。



安心して任せたいと
思われるよう
臨機応変に対応できる
看護師を目指したい

2021年度
入職

5階北病棟 看護師
小藪 華緒

看護師になって嬉しかったのは、「ありがとう」と言われる機会が増えたことです。足浴をした時に泣いて喜んでくれる患者さんがおり、私も一緒に嬉しくなりました。吸引や注射などもできるようになって、達成感を感じながら働いています。

新人研修では、AED、呼吸器、バルーン挿入が身につきました。私は寮で暮らしていますが、病院まで近いので助かっています。当院は規模が大き過ぎず、とてもアットホームな職場で、上司や先輩からいつも丁寧に指導をしてもら、相談に乗っていただけています。

今後は、患者さんが安心して任せたいと思えるように、臨機応変に対応できる看護師を目指したいと思います。

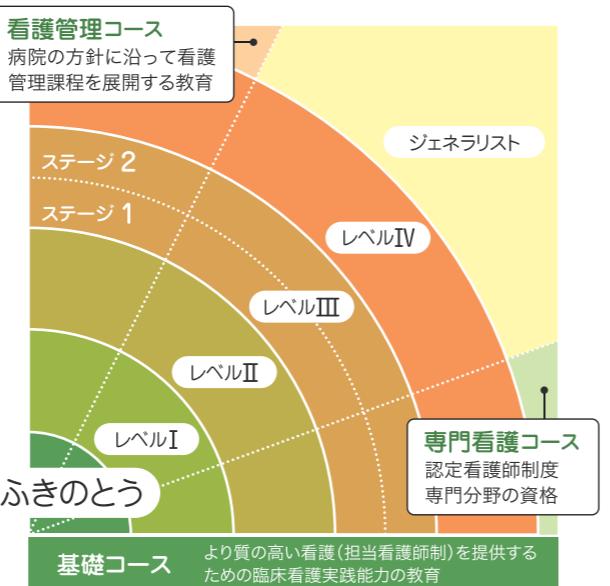
個々に合った、時代に合った看護教育

**私たちの
とっておき
2**

当院では、豊かな感性、高い倫理観、真の自律性を身につけ幅広い理論を実践に結び付ける看護師の育成を目指しています。それぞれのラダーレベルで生じる不安を払拭できる教育研修や、患者さんから学ぶ看護師のナラティブの共有を通じて育成しています。

新人ナースひとりに対し、ひとりのプリセプターがついて1対1でサポート。業務のアドバイスだけでなく、日頃の悩みなどの良き相談相手となって、新人ナースをフォローします。

キャリア開発ラダーシステム



想いをかたち 学び合い・育て合う職場環境で

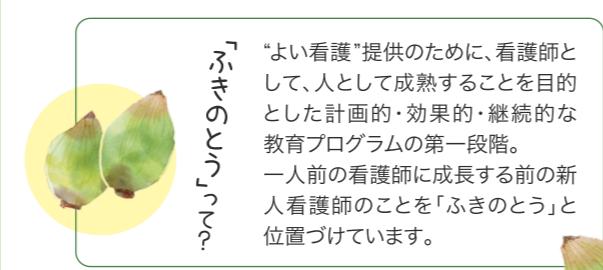
「ふきのとう」から始まる看護のキャリア

新人ナースのための教育プログラム。
同期全員が揃って受講します。
他部署に勤務していて普段会わない同期とも交流し、話せる機会なので、新人ナースにとっては刺激しあえる場となっています。

また、慣れない職場で緊張が続く毎日から少し離れ、プライベートな話や息抜きができる貴重な場もあります。



「よい看護」提供のために、看護師として、人として成熟することを目的とした計画的・効果的・継続的な教育プログラムの第一段階。
一人前の看護師に成長する前の新人看護師のことを「ふきのとう」と位置づけています。



にする看護 新人の自主性を育む現場教育

各病棟の特徴を知り、
自分が将来進みたい方向性を検討できる

ローテーション研修

2021年度より、新人看護師を対象にローテーション研修を実施しています。事前に希望を聞いたうえで、一週間ずつ4つの病棟で研修を受けます。先輩看護師のシャドーイングをしたり、各病棟の雰囲気や特徴を知ることができます。その後の配属先決定の際に、一人ひとりが将来進みたい方向性を検討できるようにしています。

フレッシュ1年目看護師の
リアルVOICEをチェック♪ /



新人のあゆみ ▶



「なぜ、どうして」と
理由や根拠と一緒に考える
ことを大切にしていきたい

2階北病棟 看護師
三浦 かえで

私は、看護をするうえで患者さんの“したい”思いを尊重し、可能な範囲で支援すること大切にしています。そして患者さんも自分も笑顔で過ごせる関係性づくりや関わり方を意識しています。新人の指導においては、新人が思ったこと、考えたことを聞き、尊重しています。覚えてほしいことやミスの原因を「なぜ、どうして」と理由や根拠と一緒に考えることを大切にしています。決して怒らずに笑顔で接して、話しやすい環境を意識することで、本人が考えやすくなるように配慮しています。プリセプターをしてよかったのは、新人だった時、何に困ったか、苦労したかを振り返って丁寧に接することができ、改めて学習できたことです。



7年目
プリセプター

4年目
プリセプター



5階北病棟 看護師
辻森 あすか

新人が自立する姿に感動
他のスタッフから褒められた時は本当に嬉しい

私は、話し言葉やトーンなど意識して説明することを心掛け、患者さんに安心感を与えることを大切にしています。

新人教育ではできることを認めて褒めることが大切だと思い、指導を行いました。慣れない環境や初めての処置、知らない病気に囲まれる中で、新人看護師がどんどん新しいことを覚え、手技もアセスメントも1人でできるようになって自立していく姿に感動しています。新人が他のスタッフから褒められた時は本当に嬉しかったです。一緒にチェックリストや学習事項などの学習や確認を行うことで私も勉強になりました。

当院では、人工呼吸器やIABP*を使用中の重症患者も入れるようになり、様々な経験ができます。また、リーダー業務ができるようになりました。

*IABP=Intra-Aortic Balloon Pumping 大動脈バルーンパンピング法

病棟運営において、主役はスタッフ、管理者はサポート役と考えています。どんな働き方をしたいのか、どんな勤務体制であればやる気になれるのか、特に多忙時には意見を取り入れ、柔軟に対応しています。スタッフの個性が發揮され、良いパフォーマンスが引き出せるあたたかい職場でありたいと考えています。そのために、管理者が良し悪しを決めるのではなく、スタッフがやりたいと思うことをカンファレンスの場で提案してもらいたい、スタッフ同士がどうすれば実現できるのか話し合ってもらいます。新たな試みの取り組みは実践力向上に大切だと考えます。「患者さんの立場だったら…どう考え、感じるだろうか」という看護師の目線に合わせて指導しています。そして、個々が考えた改善策と一緒に考えるようにしています。当院は、思考と心の多様性が広がる、嗜めば嗜むほど味が出るような奥行きの深い病院だと思います。

5階北病棟 看護師長 加藤 路奈

スタッフの個性が發揮され、良さが引き出せる
あたたかい職場でありたい



自由に発言し、仲間を見守り、

笑顔、あいさつ、コミュニケーション…
風通しのよさを大切にする職場



手術室 看護師 平戸 康貴

個々のペースで成長できる職場環境で、
手術室看護のエキスパートを目指したい

※ACL=Anterior Cruciate Ligament 膝前十字靱帯

私は、患者さん第一の看護を行ったためにチームワークや「コミュニケーション」を大切にしています。それは、手術は医師、手術室看護師、患者さんだけでなく、外来看護師、病棟看護師、薬剤師、セラピストの方々の協力で成り立っているからです。当院は整形外科の症例が年間200例前後あるので、学べることがたくさんあります。特に脊椎の内視鏡(FED)や関節鏡視下での半月板縫合、ACL^{*}再建等、低侵襲の手術を学べることが魅力です。私は、整形外科分野の器械出し得意になりました。また、個々のベースで成長できることや職場の雰囲気が良いことも魅力です。

看護師ですが、当面は手術室看護のエキスパートを目指す看護師像は何でもできる看護師です。

日々の医療の進歩に合わせて学びを深め、知識・技術を高めていきたいです。

看護観を大切にしながら
個々の才能を引き出す

当院では、個々の個性や特性を大切にしながらキャリアアップできる教育を行っています。各ラダーレベルにナラティブを取り入れた研修を組み込み、それぞれの看護観を大切にしながら個々の才能を引き出せるようにしています。研修機会を通じて、病棟間や研修生である看護師同士のつながりを創り出し、相互理解が深まるようにしています。

特に新人に対しては、コロナ禍における看護師業務や病院の環境、患者さんとの関わりについて不安から起こるアリティショックの軽減を意識しています。

大切にしている看護観を語り合い、
看護師としての喜びをともに分かち合いたい

人と人とのつながりを大切にし、
お互いが助け合える関係性を活かす
そして、特に看護管理者を中心に新人看護師同士のつながり、モチベーションの維持を気にかけるようにしています。
当院で働いてよかったと感じるのは、看護師だけでなく、多職種がギスギスしないアットホームな環境です。人と人とのつながりを大切にし、お互いが助け合える関係性を活かして、看護観を語り合い、看護師としての喜びをともに分かち合える職場づくりをしていきたいと思います。



副看護部長(教育担当)
飯田 奈美

先輩たちのように、他のスタッフの行動にも配慮できる看護師になりたい

私が看護師として大切にしていることは、患者さん一人ひとりを一人の人間として看ることです。もし、自分の家族が患者さんだったら、どうしてほしいかと当事者になって考え、患者さんがしてほしいと思うことができるように心掛けています。
現在、私が働いている救急外来の先輩たちは、気配りができ、先を読んで行動でき、その姿を見るたびに「頭の回転が速いな」と尊敬しています。私はルート確保困難者のルートキープや採血について比較的得意としていますが、先輩たちのように周りに配慮しながら、他のスタッフが行動しやすいように調整できる看護師になりました。それ違うスタッフが自然にあいさつをしあうあたたかい職場なので、ふとした時にこの病院で働いてよかったと感じています。賃金だけでは得られない良さがあります。

救急外来看護師 斎藤 さなみ



私たちの
とっておき
3

一人ひとりの看護師に
それぞれ違うストーリーがある。／



ナースのストーリー ▶

お互に支え合う。

当院の職場環境の特徴は、患者さんにとって良いことであれば、すべてのスタッフが自由に発言し、良い考えを吸収しながら、問題解決に真摯に向き合うところです。



認定看護師として、
スタッフ全員による心不全患者の
看護の質を向上させたい

私は、病気とともに生きることができるよう患者さんの生活や思いに寄り添うことを大切にしています。認定看護師を目指したのは、心不全ターミナル期の患者さんとの関わりを通して、心不全に関する専門知識をもっと身につけたいと思ったからです。現在は心不全チームを立ち上げ、患者指導や意思決定支援など他職種と協力できるようになりました。今後は心不全患者に対して、病棟の全スタッフによる看護の質の向上を図ること、そして、患者支援システムの構築をしたいと思います。

当院は地域に根差した病院なので、入院から外来へ継続して関わることができます。また、他職種との関係がよい職場なので、よりよい介入について意見を交し合って検討できます。資格取得を希望する看護師には、経済面だけでなく、医師の協力も得やすく学習が深められるので助かります。

認定看護師 中口 淑恵

「とっておき」が
たくさんある看護師を
を目指そう!



3階南病棟 看護師
佐藤 希海

自分の「とっておき」を増やし、
根拠を持って動ける看護師になりたい

当院では看護師全員が1年間を振り返り、持ち味を活かした看護について「とっておきレポート」としてまとめます。私の場合は人に言われたことを素直に受け止められるようになってきたことが、自分の強みになったと感じています。今後は行動や発言に根拠を持てる看護師になるために、もっと疾患や治療についての勉強をしていきたいです。そして、患者さんにとってのよりよい治療や意思決定の手助けができる看護師になりたいです。正しい知識に加え、患者さんの思いに寄り添えるような関わり方や考え方方が身につくように、「とっておき」を増やしていくたいと思います。



活躍する外国人看護師たち

外国人の患者さんも安心して治療を受けられるように
外国人看護師の採用を行っています

当院は外国人が働きやすい職場が整っています。ワークライフバランスが充実しており、上司や同僚はやさしく人間関係もよいので、スムーズに仕事ができます。また学習機会が多く、たくさんの知識や技術を身につけることができます。



NIPPON KOUKAN HOSPITAL

看護部理念

私たちはすべての患者さんに、一人ひとりが
『あなたでよかった』と思っていただける看護を提供します

基本方針

患者さん一人ひとりの人生を尊重し、
信頼される看護を実践します

チーム医療の要となり、安心・安全で
質の高い看護を提供します

それぞれの強みを生かし、常に責任と
成長を意識し、能力の向上に努めます

看護提供の方法

同じ眼差しで看護するための「5つのものさし」*

日本鋼管病院では、同じ方向軸と視点をもち、同質の看護を提供するために、看護師全員が常に「5つのものさし」に従って看護しています。

1. 生命の維持過程(回復過程)を促進する援助
2. 生命体に害となる条件、状況をつくりない
3. 生命力の消耗を最小にする援助
4. 生命力の幅を広げていく援助
5. 持てる力・健康な力を活用し高める援助

*「5つのものさし」=ナイチングールの看護をベースにした評価基準

勤務体制

急性期一般病棟 | 二交替勤務

地域包括ケア病棟 | 二交替勤務

看護方式

担当看護師(プライマリ)制 一部モジュール型

[定義] 担当看護師と複数の副担当看護師らによる入院から退院まで継続した看護を提供していく方式。コーディネーターを中心に(担当看護師と複数の副担当看護師により)日々の看護業務を提供する。

パンフレット制作プロジェクト

私たちの病院の目指す看護、そのために実践されているチーム医療、教育、職場づくりをできる限りリアルに伝えたく、看護師たちのナラティブを通して紹介しています。あなたの思いのこもったやりたい看護を応援します。

みなさんの「想い」を楽しみにしています



病院見学・応募のお申込・
お問い合わせはこちらから



臨床研修指定病院・DPC対象病院
日本医療機能評価機構認定病院



電車・バス

JR「川崎」駅東口 5番乗り場より臨港バス川24系統
「鋼管循環」乗車「鋼管病院前」下車(バス停より徒歩1分)

タクシー

JR「川崎」駅東口 タクシー乗り場より乗車(約5分)



医療法人社団 こうかん会
日本鋼管病院

〒210-0852 神奈川県川崎市川崎区鋼管通1-2-1
tel 044-333-5591 / fax 044-333-5599

看護部サイトはこちら ► 日本鋼管病院 看護部

<http://koukankai-ns.com/>

